

ノロウイルス検査のご案内

財団法人岐阜県公衆衛生検査センター（公衛検）

ノロウイルス食中毒ってなあに？

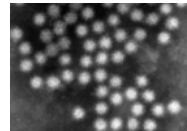


どの季節におこるの？



ピークは12月～2月。一年を通して発生します。

ノロウイルス食中毒は11月くらいから増加し始め、12月～2月で発生のピークになる傾向がありますが、一年を通して発生しています。



どんな症状なの？



症状は人によって異なります。

吐き気、嘔吐、水様性下痢、腹痛が主な症状です。

潜伏期間（感染から発症までの時間）は、24～48時間で感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合があります。通常、症状が1～2日続いた後、回復し、後遺症もありません。なお、下痢等の症状がなくなっても1週間程度、長いときには1ヶ月に渡ってウイルスが排泄されると言われていますので注意が必要です。



どのように感染するの？



様々な原因があります。

- ・二枚貝（カキ、アサリなど）を生もしくは加熱不足で食べた場合や食品の製造・調理に携わる人（ノロウイルス保有者）を介して感染することがあります。
- ・ノロウイルス感染者の糞便や嘔吐物あるいはそれらが乾燥したものから出る塵埃を介して経口感染します。
- ・老人施設、病院、保育園、幼稚園、学校などの集団生活の場や、人との接触の多い所では人から人への飛沫感染が起きます。



対策はどうするの？



定期的な検査をおすすめします。

ノロウイルス対策の基本は、手洗いやうがいの徹底ですが、ノロウイルス流行期には、食品に接触する従事者のノロウイルス検査を定期的に行うことが大切です。

下痢、嘔吐などの胃腸炎症状を呈している場合はもちろん、家族の方でノロウイルスの感染が疑われる場合には、特に検査をおすすめします。また、自覚症状がない場合にも、感染しているおそれがありますので注意が必要です。



ノロウイルス検査について



検査方法と料金

抗原検査と遺伝子検査の2種類の検査方法があります。

抗原検査は、調理従事者の日常健康管理や発症当初の迅速検査に適し、遺伝子検査は、抗原検査よりも詳しく検査を行い、ノロウイルスの有無を遺伝子レベルで検査する方法です。

状況や目的に応じた検査方法をご提案させていただきますが、ノロウイルスの検出感度から遺伝子検査をお勧めいたします。

検査項目	検査料金(税込み)
抗原検査	4,200 円
遺伝子検査	13,650 円



検査の流れについて

お問い合わせ

お電話などで、お気軽にお問い合わせ下さい。

採便容器と依頼書を郵送いたします。また、受付窓口でもお渡しできますのでお気軽にお申し付け下さい。

採便

採便容器に約1g(拇指大)を採取して下さい。

通常の腸内細菌検査(検便検査)の容器では、検査できませんのでご注意ください。

検査のご依頼

依頼書に必要事項をご記入して下さい。

搬入

受付窓口への持ち込み、または郵送でお受けします。

以下の点にご注意下さい。

- ・採便容器を凍結または氷冷して搬入して下さい。
採便容器を氷冷される場合には、ビニール袋などに入れ、濡れないようにして下さい。
- ・郵送の場合は宅配便(冷凍)をご利用下さい。
郵送代金はお客様負担となります。



(採便容器)

検査・
結果報告

検体到着後、2~4日でご報告(郵送)いたします。

(陽性の場合、結果が分かり次第ご連絡いたします。)

お支払い

検査報告書に同封されている振込用紙または受付窓口にてお支払いをお願いします。



なお、ご不明な点がございましたら下記担当までお問い合わせ下さい。



財団法人岐阜県公衆衛生検査センター

生物臨床検査課 担当：小川・岩田

〒500-8148 岐阜市曙町4-6

電話 058-247-3103(直通) / FAX 058-248-0229